

事業所名

ピュアの樹 がっけん

🍁 11月 🍁

支援プログラム

作成日

R6 年

10 月

30 日

法人（事業所）理念	こどもの生命と人権を尊重し、将来において温かくいきいきとした生活が送れるよう個々の特性に合った療育を提供します。地域に根差し寄り添いながら、様々な関係機関の皆様との連携に努めます。							
支援方針	こどもが楽しい！やってみたい！という気持ちを大切に、感覚統合理論の視点を持った遊びを、程良いチャレンジから成功体験を重ねる事で、遊びを通して感覚の発達を促していきます。							
営業時間	8 時	30 分	から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	以下のような生活に必要なスキルの獲得を目指すように丁寧にかわります。 ・自分の荷物を所定の位置に置く、手を洗う ・挨拶をする事で、人とのコミュニケーションを取り、人との関りが楽しいと感じられる ・排泄をする（自ら申告する事や時間を合わせて、先生から促される経験を積む）						
	運動・感覚	・大型遊具に乗ったり身体をたくさん使う運動遊びを経験する中で、前庭感覚や固有感覚や触覚に刺激を受け、手足への協応力を高められるようにアプローチします ・お相撲遊びを行い、身体が鍛えられるように関わります（押す、引く、持ち上げる、抱える、踏ん張るを中心にした運動遊びやサーキット遊びに取り組む）						
	認知・行動	・お相撲遊びを通して、日本の文化に親しむ機会をつくります ・お相撲遊びのルールを知り、負ける悔しさや勝つ喜びを経験し、諦めない気力を得るように励ましていきます						
	言語 コミュニケーション	お相撲遊びを通して、相撲用語に触れ、発信出来る者は元気よく発声してみたり、友達を応援したりして一体感を味わう経験を増やしていきます						
	人間関係 社会性	勝負がハッキリと見えてしまう事で、気持ちが落ち込んだり再び相撲ができなくなる事が予想されるが、身体を鍛えたという自信や他者の励ましや応援を受け入れて、挑戦する気力を身に付けていけるよう寄り添っていきます						
家族支援	・個別支援計画書に基づく6か月に1度のモニタリングと相談援助を行う ・ペアトレ、保護者交流会、研修会、支援場面の参観、連絡帳、電話などを介した相談援助を行います			移行支援	地域で暮らす他のこどもと繋がりながら、生活を送ることができるように具体的移行先との調整・支援方法の提供を行います			
地域支援・地域連携	こどもが通う保育所やこども園や幼稚園などの情報連携や、支援方法等に関する相談援助、計画書の作成や見直しに関する会議を開催します			職員の質の向上	週に1度の事業所内研修や外部講師を招いての研修を年に数回行い、職員が自信を持って支援に携われるようにしています 月例担当者会議・個人研修発表・プログラム会議・OTPTST研修			
主な行事等	・こいのぼり集会・夏祭りお楽しみ会・水遊び・うんどうかい遊び・ハロウィンパーティー・相撲大会・クリスマス会・新年書初め・昔わらべ歌あそび・節分・お別れ会 ・子育てひろばへの参画・保護者会・OT, PT, ST研修・社労士による働き方改革セミナー・虐待、拘束、安全、感染対策、BCP研修・避難訓練							

